

放射能対策特集号

日本共産党 杉並区議団 ニュース

No.325

<http://www.jcpskd.net/index.html>
〒166-8570 杉並区阿佐谷南 1-15-1 区議会内 日本共産党区議団
☎3312-2111 (内線 2319) FAX3312-2610



富田たく 35歳

党区議団の調査が区を動かす!

区内130カ所以上の公園、900ポイントを独自調査

日本共産党杉並区議団は独自に放射線量測定にふみきり、130カ所以上の公園で、900ポイントを調査しました。結果はホームページ上で公表しています。

杉並区は日本共産党区議団の調査を参考に再調査し、必要に応じて除染すると議会答弁。その様子は一般紙にも取り上げられました。今号は調査結果とその特徴について特集します。



専門家を交じえて調査
(高円寺中央公園)



調査に使用した測定器
(都内大学機関から借用)



子どもたちを 放射能汚染から 守りたい!

一般紙にもとりあげられました(朝日新聞・9月8日付)
「放射線量、高ければ除染」

杉並区、区議の指摘で測定へ
測定を行う方針。
富田区議によると、8月
半ば、大学機関から測定器
借りて、主に杉並区内の公
園約80箇所の約450地点
を測定。その結果、四層森
公園に隣接する児童館の周
辺で「やや高い」と評定され
たため、9月中にも測定を
再開したが、やはり学園な
い他の区議会本会議で取
り上げられた。区でも「区でも
測定して、高い線量が測定さ
れた場合は除染していく」
と答えた。区は9月中にも
測定を行う方針。

富田区議によると、8月
半ば、大学機関から測定器
借りて、主に杉並区内の公
園約80箇所の約450地点
を測定。その結果、四層森
公園に隣接する児童館の周
辺で「やや高い」と評定され
たため、9月中にも測定を
再開したが、やはり学園な
い他の区議会本会議で取
り上げられた。区でも「区でも
測定して、高い線量が測定さ
れた場合は除染していく」
と答えた。区は9月中にも
測定を行う方針。

東京区は7日、東日本大
震災をもとめ、津波などの
や大雨で荒川が決壊した場
合を想定し、4社が会議室
として企業の施設を使用す
るボランティアによる「内閣
を受け入れる」という内閣
のための協定を区内の4社
と結んだ。地震による津波
がでも雨遁の下やり字溝は
どから0・390・340・350
定。周囲より数倍高かつた
った数値が出たといふ。

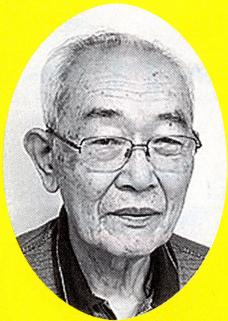
一般紙にもとりあげられました(朝日新聞・9月8日付)
「放射線量、高ければ除染」

杉並区、区議の指摘で測定へ
測定を行う方針。
富田区議によると、8月
半ば、大学機関から測定器
借りて、主に杉並区内の公
園約80箇所の約450地点
を測定。その結果、四層森
公園に隣接する児童館の周
辺で「やや高い」と評定され
たため、9月中にも測定を
再開したが、やはり学園な
い他の区議会本会議で取
り上げられた。区でも「区でも
測定して、高い線量が測定さ
れた場合は除染していく」
と答えた。区は9月中にも
測定を行う方針。

富田区議によると、8月
半ば、大学機関から測定器
借りて、主に杉並区内の公
園約80箇所の約450地点
を測定。その結果、四層森
公園に隣接する児童館の周
辺で「やや高い」と評定され
たため、9月中にも測定を
再開したが、やはり学園な
い他の区議会本会議で取
り上げられた。区でも「区でも
測定して、高い線量が測定さ
れた場合は除染していく」
と答えた。区は9月中にも
測定を行う方針。

東京区は7日、東日本大
震災をもとめ、津波などの
や大雨で荒川が決壊した場
合を想定し、4社が会議室
として企業の施設を使用す
るボランティアによる「内閣
を受け入れる」という内閣
のための協定を区内の4社
と結んだ。地震による津波
がでも雨遁の下やり字溝は
どから0・390・340・350
定。周囲より数倍高かつた
った数値が出たといふ。

区内にもミニホットスポット。区が再調査し、除染!!



日本環境学会
土壤汚染問題WG長

日本科学者会議
災害問題研究委員会委員

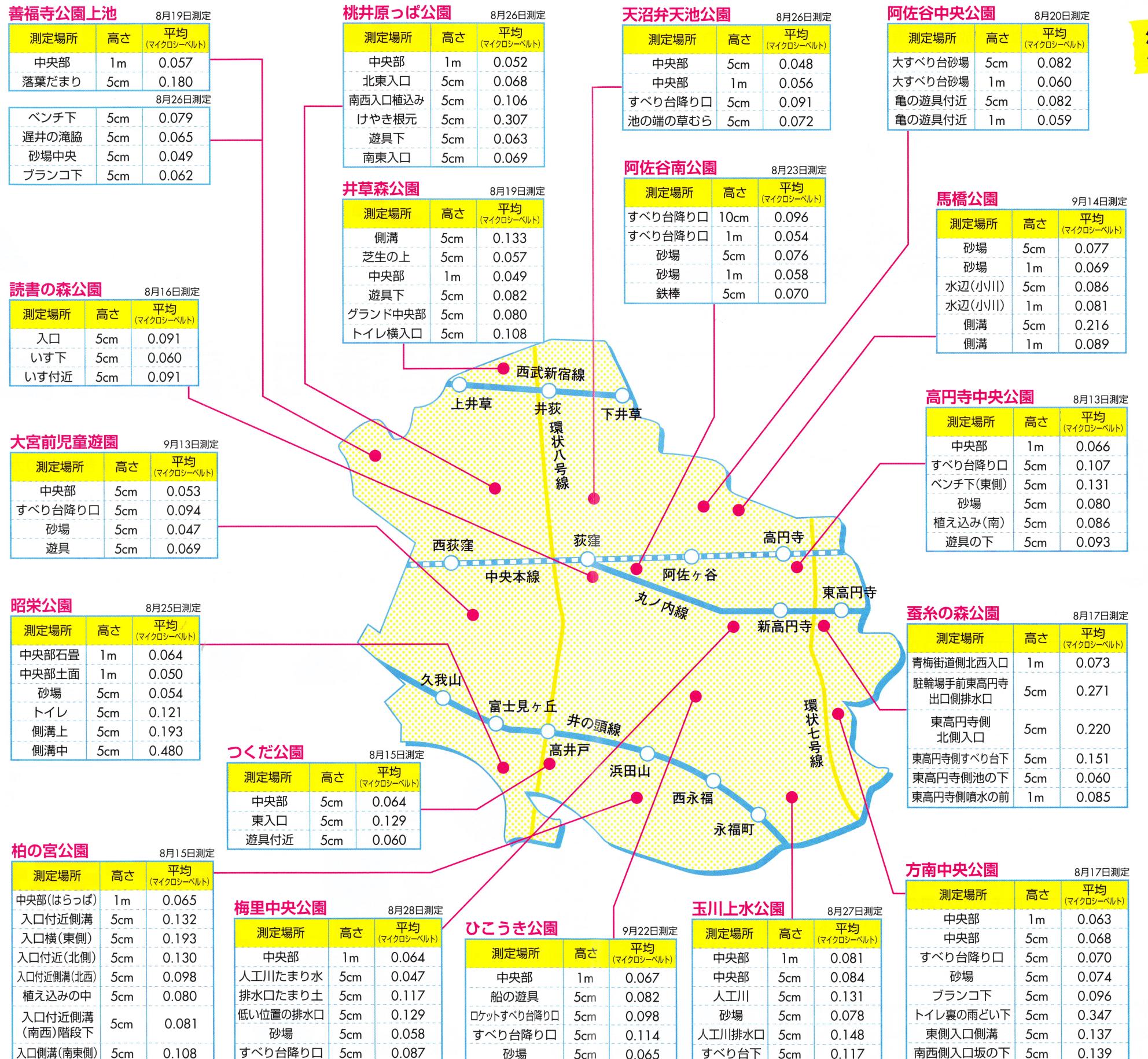
坂巻 幸雄さん

杉並区が行っている広域的な測定から、杉並区の場合、地域全体の放射線量は高くなかったことが分かった。しかし、局地的な放射線量の高い箇所、いわゆるミニホットスポットが分からなかった。

今回の区議団の測定からは、豊一枚ほどのミニホットスポットが、区内に多くあることが判明した。こうしたミニホットスポットの除染は、技術的には難しくなく、少なくとも、ミニホットスポットだけを集中的に除染することは可能である。

行政と区民が連携して除染に有効な施策を打つべきである。今後は、落ち葉や土壤、退けた放射性物質の処理対策を考えなければならぬ。

杉並区の施策は他区に比べて進んでおり、日本共産党杉並区議団が問題提起だけでなく、測定など実績を作り、行政を動かしたことは、良いモデルケースを作ったと言える。



測定の結果と特徴

8月～9月にかけて行った党区議団の放射線量調査は、実に130カ所以上の公園、900ポイントあまりを測定する大規模なものとなりました。すでに区によって全公園の空間線量は測定されていますが、党区議団の調査は一つの公園で5～8ポイントほどの調査を行うもので、ホットスポットの有無についても知ることのできる貴重な資料となっています。

結果として公園の空間線量は、杉並区、区議団それぞれの調査において比較的低い値を示していました。心配されていた砂場や水道のまわり、ブランコやアスレチックといった遊具の下、植え込みなどで高い数値は今回の調査では出ませんでした。

高く出ることが多かったのは側溝やすべり台の下、掃き集めた落ち葉や土の溜まりどころです。なかには0.5マイクロシーベルトを超えた場所もありました。

区が党区議団と合同調査

こうした区議団の調査を参考に、区は再調査を約束。9月27日には区議団と杉並区の合同調査を実施し、除染されることになりました。

さらに徹底した調査を

大人と比べて放射線の影響を受けやすい子どもにとって安心といえる放射線はありません。できる限り被ばく量を減らすという、放射線防護学の基本に立った区の対応が今後も求められます。

測定方法

- 地上高1m、5cmの放射線量を10秒間隔で1回、計10回読み取り、各平均値を算出。
- 測定日は、2011年8月～9月
- 測定器は、ALOKA PDR-101型ポケットサーベイメーター

データの見方

1時間あたりの放射線量が約0.12マイクロシーベルトの場所に、24時間365日居続けた場合に、国が一般の被ばく限度とする年間1ミリシーベルトに達します。

葛飾区では0.25マイクロシーベルト毎時を除染の基準としています。

申し入れと実現

日本共産党杉並区議団の 次々 取り組みから、放射線対応が実現！

この間、日本共産党杉並区議団は住民の要望を受け、杉並区へ放射線対策を強化するよう、再三にわたる申し入れを行ない、議会でも取り上げてきました。

住民の声や区議団の要請を受け、杉並区も放射線量測定ポイントの拡充、給食食材の原産地公表、放射性物質測定器（ゲルマニウム半導体検出器）の購入経費の予算化など、放射能対策を次々と実現してきました。

党区議団の申入れ → 区の対応

3月25日	水の放射線量調査を求める	→ 4月初旬水道の水質調査を開始
5月27日	区内の幼稚園・保育園、小中学校の園庭、公園、及びプールでの放射能、水質調査を求める	→ 6月初めからプールの水質調査開始
7月26日	給食食材の現産地公表と対応職員の加配 給食食材、牛乳の放射線量調査、区独自の安全基準策定を求める	→ 9月から給食の原産地公表開始 給食材の放射性物質測定器の購入予算化
9月議会	区内放射線量測定について、党区議団の調査結果を参考にした再調査、除染基準を区独自で設定し、区の責任で除染を行うことを求める	→ 9月27日区と区議団合同調査 10月除染を約束



区議団独自の区内放射線量
測定結果(ダイジェスト)↓
<http://www.jcpksd.net/m0922.pdf>

原発さよなら アクションに6万人

9月19日



9月11日、高円寺の若者らが呼びかけ、反原発をうったえる1万人のデモが新宿の街を取り囲みました。9月19日にはノーベル文学賞の大江健三郎さんやミュージシャンの坂本龍一さんらの呼びかけで、「さよなら原発集会」が開かれ、実に6万人が集りました。

原子力発電はひとたび大事故を起こせば、子どもの内部被ばくや土壌汚染など取り返しのつかない被害をもたらし、日々生み出される死の灰はこの危険を除去する技術がいまだに確立していません。こうした原子力発電は日本とアメリカの大企業利権のため、国民を犠牲にして押し付けられているのが実態です。

原子力から再生可能エネルギーへの転換はいまや国民大多数の願い。日本共産党区議団はみなさんと力を合わせ、その声を政治に届けるため奮闘します。

ご希望の方には、区内の公園の放射線量をまとめた資料をお送り致します。

お問い合わせは日本共産党杉並区議団へ